

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1470600824
法人名	株式会社 日本ケアリンク
事業所名	せらび保土ヶ谷
訪問調査日	平成21年3月17日
評価確定日	平成21年4月13日
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん 株式会社フィールズ

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 21年 3月 26日

【評価実施概要】

事業所番号	第1470600824号
法人名	株式会社 日本ケアリンク
事業所名	せらび保土ヶ谷
所在地	横浜市保土ヶ谷区川島町1219-1 (電話) 045-370-3307

評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん株式会社フィールズ		
所在地	藤沢市鵜沼橋1-2-4 クゲヌマファースト3F		
訪問調査日	平成21年3月17日	評価確定日	平成21年4月13日

【情報提供票より】(平成 21年 2月 1日事務所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 4月 1日			
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人	
職員数	19人	常勤 14人	非常勤 5人	常勤換算 8.4人

(2) 建物概要

建物構造	()造り
	2 階建ての 1,2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,000 円	その他の経費(月額)	70,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	300,000円	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	110 円	昼食	250 円
	夕食	250 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (2月1日 現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 84 歳	最低	65 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	サヴァイクリニック けやき歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは高台の静かな、住宅に囲まれ、広々とした敷地の中にあります。庭には四季を楽しめる桜や木蓮の木々、いくつもの大きな花壇や畑もあり、利用者の散歩道のわきには、つくしやタンポポが咲き、季節を感じる事ができます。周りに高い建物もなく、終日陽のあたる明るいホームの住まいには、それぞれの人生や個性を大切に、利用者の穏やかな暮らしが伺えます。ホームに隣接して協力医療機関があり、いつでも医師やナースが対応可能な環境にあり、利用者はもとより職員も安心して支援に当たることができます。管理者をはじめ職員は法人の充実した研修制度の中で常に自己啓発と利用者へのサービスの向上を目指し、理念の実践に励んでいます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価を通して家族へのもっと分かりやすい情報提供の方法が課題となり、新聞のような活字の便りではなく、利用者一人ひとりの行事への参加写真のほか、日常生活のありのままが目で見えるスナップ写真に、それぞれの居室担当の手紙を添えた、家族への便りにより家族とのコミュニケーションが深まりました。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価はユニットごとに参画実施しています。自己評価を通して新たな気づきはサービスの向上に反映しています。法人では利用者へ音楽療法や学習療法など新たな取り組みもしています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では地域の防犯や利用者のSOSネットワーク作り、緊急時の認知症避難所などのテーマを取り上げ、利用者の事故予防について話し合い、地域の協力を得て利用者の日常生活の安全確保に努めています。またグループホーム連絡会を通してグループホーム相互の職員の交換研修が実施され、新たなサービスの気づきをサービスの向上につなげています。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用者一人ひとりに担当職員がいて日頃の暮らしが手紙に写真を添えて、分かりやすく家族に伝えていきます。利用者や家族が気軽に要望や意見を言える雰囲気があり、職員は家族や利用者の状況や要望に合わせて柔軟に対応に努めています。法人では傘下合同で事例発表会やサービス向上委員会が設けられていて、常にサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の清掃や祭りへの参加、毎日の散歩や郊外へのドライブなど出来るだけ地域の人達、外部の人々との交流の機会を作っています。ホームには歌や踊り、演奏会や芝居など多くのボランティアが来訪し、外出の困難な利用者も来訪者との交流を楽しんでいます。広い庭の一角に植樹やベンチを置いたり、庭内の畑の一部を地域に開放して、新たに地域の人達と利用者との交流の場を作る取り組みをしています。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を柱にホームの理念がつくられ、一人ひとりの個性を大事にした暮らしができるよう支援しています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の理念、ホームの運営理念、活動のモットーを玄関やホールに掲示し、また「ご利用者への接し方10ヶ条」の掲示と一緒に職員が常に目につくところに掲げられていて共有しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の清掃や神社の祭りに参加したり、ホームの前が通り道となっている神輿に参加するなど地域の人々との交流を大事にしています。また地域の小、中学生のホームの体験学習での交流や紙芝居、楽器の演奏会、盆踊りなどのボランティアを通して交流を図っています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価を通して、利用者一人ひとりの日常生活のたくさんのスナップ写真(本人、家族の了解のもと)とそれぞれの居室担当による家族への手紙を添えて毎月お知らせしてホームと家族との絆をより深めています。今回の自己評価は各ユニットごとに取り組んでいます。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域密着防犯セフティーマネジメント、利用者のSOSネットワーク作り、緊急時の認知症の避難場所などホームの安全に関する討議がされています。今後も運営推進会議をキーに地域との交流拡大に取り組もうとしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域のグループホーム連絡会に積極的に参画し、他のホームとの交換研修会を通してサービスの向上に努めています。毎月の役所への報告時に情報交換の拡大を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の金銭出納報告と共に各居室担当職員による手紙に利用者のホームでの日常生活の写真を添えて、家族に報告しています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を定期的開催しています。以前、受けた意見を生かし、家族会や家族の訪問時、利用者の日常生活での苦情、意見、要望などを自由に表せるような環境作りを努めています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限であり、利用者の不安を軽減するよう図っています。来期から契約職員全員を本採用に登用し雇用の安定と利用者への更にサービスの向上を目指しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人は内部、外部の研修に積極的に取り組んでいます。法人の確立した研修制度の実施により人材育成が図られています。無資格者には助成金を出して資格取得を支援しています。法人では傘下の事業所代表による「サービス向上委員会」「事例発表会」が設置されていて職員の育成と利用者へのサービス向上に取り組んでいます。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会に積極的に参加し、他のホームと相互に交換研修を行いサービスの向上を図っています。法人傘下には首都圏にグループホームのほか有料老人ホーム、デイサービス、小規模多機能施設などが数多くあり、法人広報誌を通しての様々な交流があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の入居に当たっては、一週間の体験入居を経て本人、家族が納得のうえ入居しています。部屋には長年の馴染みの物を持ち込み、安心して過ごすことができるよう配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者のありのままを受け入れ、支え合い、一人ひとりの個性や人生を大切に、せらびの理念の実現に向かって支援しています。時には、お隣同士としてかわり合い、教えられたり、教えたりの関係を作っています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人が日頃から自分の思いを表しやすいような雰囲気作りに努め、声掛けをしっかりと意向を把握するようにしています。常に「本人にとってはどうなのか」ということを考えています。自分の思いをうまく表現できない利用者に対しては表情や行動から多面的に観察し、推し測って意向を汲み取るようにし、家族の話や持ち物からも情報を得るようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを含め、本人や家族との日頃のかかわりの中で思いや要望をうかがい課題を明確にしています。毎月のユニット会議にカンファレンスを実施しています。主治医や看護師の意見も含めてカンファレンスを行い、みんなで意見を出し合い介護計画に反映させています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態の変化に合わせてきめ細かく介護計画を見直し、その都度本人・家族とよく話し合い意向を確認しています。状態が安定している利用者に対しても6ヶ月毎に、見直しを行っています。職員は居室担当制で毎月1回は「施設サービス計画モニタリングチェック表」を用いモニタリングを行い、利用者のニーズを的確に把握しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じてかかりつけ医や認知症専門医への受診支援をしています。また入退院時にも病院との連携をはかり、カンファレンス等で早期の退院を目指しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣の嘱託医(内科・歯科)の他、認知症専門医への受診も定期的に行っています。かかりつけ医の受診は基本的に家族対応となっていますが、家族が受診に付き添えないときには職員が付き添い受診する体制ができています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今年度からは近隣の嘱託医に変わった事もあり重度化への体制が整ってきています。重要事項説明書の中に「利用者が重度化した場合の指針」として明記されています。過去に看取りを行った例があります。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わり方をユニット長が点検しプライバシーを損ねないような対応の仕方を徹底しています。申し送りでは1番さん2番さんと呼び名前は出しません。特に排泄や入浴に関しては目立たずさりげない言葉掛けを心がけています。写真に関しても家族の了解を取っています。個人情報事務室のキャビネットに施錠して保管しています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の一日の過ごし方については一人ひとりの状態に合わせて柔軟に対応しています。外に出て洗濯物を干したり広い庭でつくしを摘んだり、思い思いに過ごしています。自由に散歩に行く利用者もいます。ドライブ・散歩等はできるだけ希望に沿うように務めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
	22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>明るく開放的なキッチンで一緒に調理する事もあります。利用者もエプロンをして張り切っています。一緒に並んで野菜を切ったり皮を剥いたりします。職員と利用者が同じテーブルを囲み、自分の茶碗、箸、おわんで食事を楽しみます。お誕生日にはその方の好きなものを夕食に出しています。希望に応じ外食も楽しんでいます。『すし』は人気があります。</p>		
	23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的には時間を設定していますが、常時入浴の準備をして入浴したいときにいつでも入浴できるような環境を整えています。毎日入浴される方もいます。一人ひとりの生活習慣や気持ちを尊重して入浴を勧めるタイミングを掴んでいます。楽しい気分に入っていただけるようにゆっくりと声かけをしていく等の工夫しています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
	24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>アセスメントをしっかりと一入ひとりが生き生きと出来る場面を作り出しています。縫い物が好きな方には布巾や雑巾を縫っていただいたり、衣類の繕いをお願いしたりして、その都度感謝の言葉を伝えています。自分で楽しみを見出す事が難しくなっている利用者に対しては、普段の表情などから好きな事を汲み取っています。</p>		
	25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>季節を感じることを大切にし四季折々に、お正月の初詣から始まり梅、さくら、紅葉等季節ごとに外出しています。散歩や買い物は希望があれば、その都度対応しています。調査日にも「今日は散歩日和ね」との利用者の方の声が聞かれていました。積極的に車イス利用者への外出支援を行い、車でスーパーへ買い物に行くこともあります。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援						
	26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>管理者以下ユニット長も含めて鍵をかけない生活の大切さを認識していますが、現在は施錠に関してスタッフ間の合意を得るまでには至っていません。家族の同意を得ていますが、門、玄関、二階への階段、エレベーターは施錠されています。</p>		<p>鍵をかけない生活の大切さをスタッフ間の共通認識とし鍵をかけずに安全に過ごしていただけるように更なる取り組みが期待されます。</p>
	27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時のマニュアルは作成されており消防署の指導による防災訓練は実施され、職員間で避難経路の確認は出来ています。地域の消防団に関して運営推進会議で協力を依頼しています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量は毎日個人ごとの「利用者健康チェック表」に記録して職員間で情報を共有しています。栄養士により献立が立てられています。日々の会話や観察から一人ひとりの嗜好を把握するように努め、お誕生日の献立や外食時に活かしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物全体に窓は大きく、風が良く通り、明るい光が十分に入ります。室内は広くゆったりとして利用者はソファに座り、テレビをみたり思い思いに寛いでいます。廊下にも2箇所ソファやテーブルが置かれ静かに過ごせるようになっています。食卓には生花が飾られリビングや廊下には観葉植物・水槽(1階は熱帯魚・二階は金魚)が置かれています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の馴染みのタンス・藤のイスなどが置かれ、思い出の写真が飾られています。冷蔵庫以外持ち込み自由としています。家具の配置等に関しては危険がない限り職員は口を挟まず利用者の好みに任せています。4月からは防災カーテンへの変更に伴い色を自由に選んでいただいています。		

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	せらび保土ヶ谷
(ユニット名)	1F
所在地 (県・市町村名)	神奈川県横浜市保土ヶ谷区川島町1219
記入者名 (管理者)	新谷 誠
記入日	平成 21 年 2 月 16 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>運営理念にある地域社会とのふれあいを通じ、心のケアをもてるように近隣の方々との交流を実践し、よりよい生活環境を築くようにしている。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>ホーム内に理念を掲示し、利用者一人々の自由と個性を大切に、これまでの生活を尊重するよう取り組んでいます。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		<p>家族や近隣の方々との交流の場を設け地域に溶け込んだ事業所であること実践しています。また、家族会は年3回・運営推進会議は年4回実施し、年間行事などを通して理解をいただいています。</p>
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>近隣での散歩やごみ捨てなどの機会にご挨拶を交わし、顔見知りになったり、ホームの畑を近隣の農家の方にご指導頂き、利用者様と共に収穫しています。また、町内会主催の活動や行事(掃除・老人会・お祭り・子供会)に参加しています。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>地域小学校・中学校の交流会や職業体験の場として提供しています。また、近隣の保育園への見学も行い交流を深めています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	行事の際、お声掛けをし、参加を呼びかけています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を職員やご家族に通知し、互いに今後の運営に役立つように話し合いを持っています。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営促進会議では、町内会役員・民生委員や利用者ご家族にも参加して頂き、意見交換を行っています。これからも運営推進会議を通して、地域に根付いた施設運営を行っていきます。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今後も研修に参加し、職員の介護力を向上させ、サービスの質の向上に努めます。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会・説明会などに参加し、理解を深めている。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者の身体状況を職員全員が把握し、変化を見逃さないように連絡事項は徹底しています。また、各職員が利用者様に対する不適切な態度をとらないように職員同士の話し合いの場を設けて、虐待防止に努めます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に説明し、納得した上で契約を結んでいます。今度も、ご家族との話し合いを強化していきます。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様並びにご家族の意見が反映されるように定期的に家族会を設け話し合いの場を作っています。</p>	
14	<p>家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月一回の小口現金報告時に、事業所だよりと個人の日常の様子を写真と共にご家族に送っています。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者並びに家族の意見が反映されるように定期的に家族会を設け話し合いの場を作っています。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ユニット会議・全体会議並びに本社の運営会議にて、職員の意見が反映されるようにしています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>通院対応や欠勤者の勤務代行が出来るように職員同士協力し合い、緊急時には電話連絡網にて、応援出来る体制を取っています。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が働きやすいように職場環境を整え、離職による利用者様のダメージの軽減を図っています。また、職員のストレスがたまらないように話し合いの場や慰安会を設けて永く勤められる職場を目指しています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(印)	
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各資格取得に助成金を出しています。法人内・外部の研修に受講する機会を設けています。また、福祉の各資格に助成金を出して、レベルに応じた研修に参加し、介護力向上を図っています。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に所属し、会合や研修をしています。また、交換研修で他の事業所で勉強する機会を作っています。交換研修では職員がテーマを掲げ、実習勉強をしています。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間のチームワークを深める慰安会等に際し、補助金が出ています。また、相談しやすい環境作りに取り組んでいます。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の評価を見極め、給料に反映しています。また、個々の相談(仕事・給料)にも親身になって話しを聞くよう心掛けています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様・ご家族と共に、面接をしっかり行い、ご本人が望まれる生活をお聞きし、入所に対する不安を取り除くように接しています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所の経緯を含め、ご家族・利用者様の訴えを聞き、不安を失くすように努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接を通し、課題を見つけ、望まれた生活が出来るように対応しています。在宅での生活状況を知る為、居宅ケアマネや福祉課の方に情報をもらっています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	自宅と施設を行き来しながら、施設に馴染むまでの過程を経て、入所に至るなどの対応もとっています。		入所時に、ご自身の愛着のある物を居室に置いたり、他の利用者と良い関係が築けるように職員が声かけや接し方をしています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常に職員は利用者様とのコミュニケーションをとるようにし、明るく楽しく温かくをモットーに良い関係を築いています。今後も、利用者様に対する敬意を忘れずに仕事に取り組んでいきます。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入所後もご家族と連絡を取りながら、施設での生活状況を共有できるようにしています。また、施設での生活の様子を電話やお手紙で、ご報告しています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族が訪問した際、気持ち良く過ごせるような雰囲気を作って、利用者と家族が家にいるような和やかな時間を過ごして頂けるようにしています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の来所・馴染みの場所や生まれ故郷への外出。手紙・はがきのやりとりをしています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様が生活していく上で、趣味活動やレクリエーションの時間を設け一緒に過ごすことでコミュニケーションを図り、孤立しないように努めています。		日常の会話を通して、歌を歌ったり、散歩をしたり、利用者様と一緒に過ごす時間が楽しくなるようにしています。

項 目		(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後の状況を尋ねたりお見舞いに出掛けています。今後 もご家族の相談にのっていきます。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	共同生活が出来る範囲内で、本人の希望にそった生活を提供しています。散歩・庭の手入れ・オルガン演奏・裁縫など好きなことをして頂いています。	
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの聞き取りやご本人から日々のコミュニケーションを通して、幼少の頃や青年時代のことをお聞きし、その人の生活歴の把握に努めています。	
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様それぞれの心身状態や有する力を見極めて、訴えを聞きながら、会話をしたり、見守るなど職員の連携をとりながら利用者様の現状を把握しています。	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族や主治医と連携を図り、個々の疾病や身体・認知状態に合わせた介護計画を作成しています。今後ご家族の意向やご本人の趣味思考を生かした介護計画を作成していきます。	
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護記録にて、日々の身体・生活状況を記録し、毎月のモニタリングを行っています。また、6ヶ月ごとに見直しを検討し、個人のニーズに合わせた介護計画が出来るように努めています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・健康チェック・管理日誌にて、職員全員が利用者様の身体・生活状態が把握できるようにしています。また、話し合いの場を持ち、申し送りノートにより伝達の徹底化を図っています。		
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来る範囲内にて、利用者様の要望にお応えし、状況に応じたサービスを心掛けています。		利用者様の引っ越しのお手伝い・買い物・病院の受診対応など状況に応じたサービス提供をしています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会・民生委員・地域ボランティアとの交流を通し、相互理解に努めています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人の希望に応じて、訪問散髪やマッサージを利用しています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営促進会議に参加して頂き、意見交換並びに情報提供をいただいています。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医や各専門医と連携を取り、ご家族との相談や状況に応じた適切な治療を受けています。また、提携病院が施設に隣接している為、速やかな対応が来ています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご家族との相談のうえ、もの忘れ外来の専門医へ受診をし、医師より適切な指示を仰いでいます。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	主治医との連携により定期的に看護師が訪問し、緊急時の対応も迅速に行っています。また、管理日誌にて、身体状態の変化を共有しています。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中、病院関係者との情報により退院に向けての話し合いをご家族を交えて進めています。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に利用者様が重度化した場合における指針について、ご説明した上で、同意書を頂いています。また、必要が生じた場合、選択肢を示し、ご本人・ご家族にとって、より良い方向に向かう支援をしています。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご本人やご家族の意向を踏まえ、主治医等関係機関との連携を取り、納得した終末期が迎えられる体制が取れるよう今後も話し合いを続けていきます。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者様が他施設などに移る際には、新しい生活に困惑しないように、今までの身体状況や施設での暮らしぶりなど、情報提供しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員には、個人情報に対して、流出しないよう覚書を交わし、記録は鍵のかかる所に保管するなど、利用者様のプライバシーに関わる対応をしないように指導しています。	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりに合わせた言葉掛けを行っています。また、利用者様ご本人が意思決定が出来るように、出来るだけ多くの選択肢の中から選べるようにお声掛けをしています。	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のご希望を伺い、出来る限りご希望にそった生活が送れるように支援しています。また、入浴や体操など、一人ひとりのご希望が異なる時は、無理強いせず、ご本人のペースに合わせています。	
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	以前施設で仕事をしていた方が毎月一回訪問散髪をして下さる為、利用者との交流も深く、ご自身の希望を伝えることが出来ます。	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の嗜好を把握し、食事・飲み物を提供すると共に、個々に応じた作業をして頂き、利用者様の機能を引き出してもらえるよう支援しています。	楽しみながら食事が出来るようホットプレートを活用し、焼きそば・お好み焼き・ホットケーキなどを職員と一緒に作ったり、外食をする機会も作っています。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者様の身体状態を留意した上で、可能な限りご本人の嗜好を尊重しています。	誕生日会・クリスマス会などの行事での飲酒やご本人の希望に応じた献立を提供しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>個人の排泄リズムを把握した上で、トイレへの誘導を行い、習慣づけすることで、利用者様の尿意を自覚できるように支援しています。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>毎日の入浴体制が出来ており、出来るだけ利用者様の希望にそった入浴時間を設定しています。今後もご本人の意思で入浴できるように取り組んでいきます。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>個人の生活リズムを踏まえ、ご本人の意思を尊重し、自由に休息して頂いています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日々の暮らしの中で、その人の出来る役割を持って頂くことにより張りのある生活を持って頂いています。これからも利用者様それぞれが出来ることを引き出せるように支援し、感謝の言葉掛けをしていきます。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出の機会を増やし、ご本人が好きな物を購入して頂くことで買い物の楽しさや金銭感覚を養ってもらっています。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者様の健康状態を把握し、気分転換を図れるように外出支援しています。</p>		<p>散歩やドライブ・買い物などを通して、季節感を味わって頂いたり、社会交流の場を作っています。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>出来るだけご本人の希望に応じた支援をしています。</p>		<p>希望に応じて、職員と共に日帰り温泉や水族館・動物園見学をしたり、クリスマスイルミネーション・初詣など季節感も体験して頂いています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙・はがき・電話などご家族やご友人と自由に連絡を取り合っています。また、手紙やはがきの購入時やポストへの投函時に、付き添いをしたり、電話の取次ぎも正確にお伝えし、安心頂いています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者様とご家族と一緒に会話やお茶を楽しむ場を提供し、和やかな環境作りに心掛けています。今後も自由に訪問出来る雰囲気づくりをしていきます。		
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員同士が身体拘束を理解し、身体拘束がない支援に努めています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室・玄関などの鍵かけはしていませんが、庭が広いので周囲の門や裏口には暗証番号によりロックしています。尚、入所時にご家族から許可を頂いております。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中の見守りや夜間の巡回を徹底し、安全確認しています。今後も利用者様の行動を見守り、事故のないように取り組んでいきます。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご家族との話し合いにて、危険物の持ち込みは禁止しており、危険な物品の保管場所には施錠管理しています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット・インシデント報告書により職員は事故を共有し、事故防止に関わる研修に参加するなど、知識を高めると共に話し合いの場を設け、再発防止に取り組んでいきます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は定期的に消防署に来て頂き、防災及び応急手当の訓練・指導を受けています。今後も研修に参加するなど、職員間の知識向上を図っていきます。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署員立ち会いのもと、利用者様と共に避難訓練を実施しています。また、地域の消防訓練にも参加し、地域の方との協力体制も出来ています。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ご本人にとってのリスクを少なくし、その都度ご家族と話し合いながらよりよい方向性を導いていきます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常の健康チェックや様子観察により、状況変化に気づいたら速やかに主治医と連携が取れるようにしています。今後も、職員全員が常に利用者様の身体状態を把握できるように意識を持って支援しています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医や各専門医と連携を取り、利用者様の身体状態の変化を見逃がさない様に取り組んでいます。今後も主治医や専門医の相談・また意見を聞き、よりよい医療体制を築いていきます。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	適度な運動を取り入れると共に、排泄チェック表にて、水分や食事量の管理を行っています。また、主治医との連携により、薬の調節にて排泄を管理しています。今後も日常生活にラジオ体操や簡単な運動を取り入れ、毎日のおやつにヨーグルトを出すなど工夫して、排泄を促しています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけしながら、見守りや一部介助をし、清潔保持を行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様に応じて、ご飯の柔らかさを調節し、おかずを刻むなどの工夫をして、提供しています。また、むせ込みのある方にはとろみを取り入れ食事介助を行っています。今後も、食事や水分摂取量をチェックし、栄養バランスが保たれているか把握していきます。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防のマニュアルがあり、手洗い・うがいを施行しています。また、保険所の研修にも参加し、知識を深め、各職員に伝達しています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	消毒や衛生面に関する業務マニュアルがあり、各職員が理解しながら行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設周囲に樹木を植え、玄関前に鉢植えを置いています。また、玄関前の駐車場スペースにベンチを置き、誰でもが気軽に休息できる場を作っています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは広く、日当たりがよく、台所・浴室は明るく清潔にしています。また、毎日の掃除にて、清潔を保ち、季節感を取り入れた飾り付けをしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、個々の席を設け、フロアの一角や廊下にソファを置き、気の合った利用者同士が自由に談話する場を作っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時にご本人やご家族と相談し、ご本人が馴染んだ家具や愛着のある物を置き、心が落ち着くような居室作り心掛けています。		利用者様が馴染んでいた家具やオルガン。また、愛着のあるぬいぐるみやご家族との写真を飾ることで居心地よい生活をして頂いています。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空調設備を完備しており、全面窓の為、換気や日当たりも良好です。換気はこまめに行い、室温や湿度の調整をすることで、快適な空調管理をしています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有スペースは広くとり、車椅子での移動がしやすいような作りになっています。また、状況に応じ、テーブルやソファなどの配置も工夫しています。手擦りはトイレや浴室・フロアに設置しており、床はバリアフリー化され、自立した生活支援をしています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員は利用者様が混乱や失敗をしないように声かけや場所・スイッチが分かるように表示しています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭には畑の他に季節の樹木や草花を植え、季節感を味わって頂いています。また、広い庭を活用したレクリエーションも取り入れています。		庭で、すいか割り・昼食・日向ぼっこをしています。また、畑では、職員と共に季節の野菜を収穫し、調理をして楽しんでいます。

サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		kau	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・連携病院が施設に隣接している為、身体状況の変化には迅速な対応が出来ており、主治医や看護師との情報の共有が出来ている。
- ・自然に恵まれた環境の中に施設があり、広くゆとりのある庭には季節の樹木や草花を植え、季節の移り変わりを感じて頂いております。また、庭の一角には畑があり、利用者様と季節の野菜を育て、土いじり体験する機会を作っております。
- ・地域ボランティアや近隣の中学校・小学校との交流の場を多く持ち、利用者様が生徒・児童とのふれ合いの時間を持っています。
- ・定期的に社内研修が実施され、よりよいサービス向上に向けての取り組みを行っています。

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	せらび保土ヶ谷
(ユニット名)	2F
所在地 (県・市町村名)	神奈川県横浜市保土ヶ谷区川島町1219
記入者名 (管理者)	新谷 誠
記入日	平成 21 年 2 月 16 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
<input type="checkbox"/>	地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	近隣の方々との交流を持ち利用者様に自分の家で気持ち良く生活しているような環境を作るように努めています。		その人らしく生活ができるように個々の自由と個性を大切にし、せらびとしての理念をホーム内に提示しています。
<input type="checkbox"/>	理念の共有と日々の取り組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者様一人ひとりの自由と個性を大切にし家族の一員としてこれまでの生活を尊重するよう取り組んでいます。		ホーム内に理念を提示し、共有の取り組みをしています。
<input type="checkbox"/>	家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族及び地域社会とのふれ合いを通じ地域に根ざした事業所である事を実践しています。		家族会は年3回、運営推進会議は年4回実施し、年間行事などを通じて理解を頂いています。
2. 地域との支えあい				
<input type="checkbox"/>	隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ゴミ捨て、散歩時など挨拶を交わし顔見知りになったり、近隣の農家の方にご指導頂き野菜を育て、利用者様と共に収穫しています。		ホームの行事にはお誘いをし、町内会の行事には参加するように心掛けています。
<input type="checkbox"/>	地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会主催の活動は回覧板にて案内がきており行事(掃除・老人会・お祭り・子供会)に参加しています。		地域小学校・中学校の交流会や職業体験の場として提供しています。また、近隣の保育園への見学も行い交流を深めています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>行事の際、お声掛けをし参加を呼びかけています。気軽に見学して頂いたり相談を行っています。</p>		<p>地域高齢者との交流を深める為の工夫作りをしていきたいです。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の結果を職員やご家族に通知し、互いに今後の運営に役立つように話し合いを行っています。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では町内会役員・民生委員や利用者様、ご家族にも参加して頂き、意見交換を行っています。</p>		<p>これからも運営推進会議を通じて地域に根ざした施設運営を行っていきます。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ボランティアの情報や高齢者に関する研修の提供を受け積極的に参加しています。</p>		<p>今後も研修に参加し、職員の介護力を向上させ、サービスの質の向上に努めます。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会、説明会に参加し理解を深めています。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>利用者様の身体、精神状況を職員全員が把握し、変化を見逃さないよう注意を払い防止に努めています。</p>		<p>各職員が利用者様に対する不適切な態度をとらないように職員同士の話し合いの場を設けて虐待防止に努めています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>面接時に十分な説明を行い、ご本人またご家族に見学して頂き、不安点や疑問点に関しその都度説明し、理解また納得の上契約を結んで頂いています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常での会話や表情、行動によって利用者様の状態把握に努め不安等表せる環境に努めています。家族面会時にも利用者様が不満等抱えていないか伺っています。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月家族宛の手紙を送付し利用者様の報告、金銭管理、職員の異動について報告しています。また、面会時や緊急時には電話にて様子を報告しています。</p>	<p>毎月ご家族宛に利用者様の様子や写真を送付しています。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議、家族会、面会時においてご意見を頂き、反映させています。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>本社の運営会議、全体会議、毎月の会議や日々の業務の中から意見を出して頂き反映させています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に合わせた勤務の調整に努めており、ホーム近くの職員には緊急時に対応できるような体制をとっています。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1F、2Fとの交流を密にし異動時には利用者様のダメージを最小限度に抑えるよう努めています。</p>	<p>職場環境を整え離職を防いでいきたいです。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内、外部の研修に受講して頂いています。資格取得に助成金を出しています。		レベルに応じた研修に参加し、介護力向上を図ってまいります。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に所属し会合に参加しています。また、交換研修を行っています。		他ホームとの交流を深め質の向上に努めてまいります。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間のチームワークを深める慰安会に際し、補助金が出ています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の状況を把握し給与、賞与に配慮し向上心が抱けるよう努めています。		個々に目標を持って頂き、研修、勉強会への参加を増やしてまいります。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接を行い安心して利用できるように意見、希望を聴く機会を作っています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所の経緯を含めご家族が安心してできるように不安や求めている事を聴く機会を作っています。		ご家族との話し合いの時間を多く取っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接時アセスメントに基づいて入所に至らなくても相談にのり対応に努めています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家庭訪問やホームに来て頂き雰囲気に馴染めるよう工夫しています。		体験入所を行っています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で共に共感し支え合い明るく楽しく温かくをモットーに良い関係を築いていけるよう努めています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日常の様子を把握して頂き共に利用者様を支えていく関係が築けるよう努めています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様に合ったケアを共有して頂き、ご家族からも指導して頂いています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の訪問、電話での会話、馴染みの場所への外出を行っています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様の間人関係を理解しておりトラブルを事前に回避し、職員とのコミュニケーションにより孤立しないよう努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	訪問や見舞いに行き関係を大切にしています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で利用者様の状態を職員が共有し、その人らしさに重点を置き支援に努めています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントや利用者様との会話、家族や知人の面会時に情報を頂き把握に努めています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	会話、表情、態度から利用者様の把握に努め、職員が情報を共有することにより個々に合ったケアに努めています。		与える介護ではなく待てる介護に努めていきます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	生活状況を正確に把握することで関係者が情報を共有しカンファレスを行い、課題に添った介護計画を作成しています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	生活状況を毎月カンファレスし、見直しを行い利用者様の状態に変化がある時は速やかなプラン変更に努めています。		ケアプランに元づく記録についての勉強会を行っていきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、管理日誌、健康チェック、申し送りノートにて情報を共有しケアに努めています。		記録についての勉強会を行ってみたいです。
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来る範囲内にて、利用者様の要望にお応えし、状況に応じたサービスを心掛けています。		利用者様の引越しの手伝い・買い物・病院の受診対応など状況に応じたサービスを提供しています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会・民生委員・地域ボランティアとの交流を通じ、相互理解に努めています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問マッサージ・口腔ケア指導を利用しています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加して頂き、意見交換並びに情報提供をしていただいています。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の指示や家族の希望を尊重し適切な医療を受けられるように支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	個別により家族との相談のうえ専門医への受診を行い、相談、治療を行っています。緊急時にも相談ができる環境であり個々に合った治療を受けられるよう支援しています。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	定期的な往診や気軽に相談できるようになっており、健康管理、迅速な対応に努めています。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族、病院関係者との情報交換を行い早期退院に備えて連携しています。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に利用者様が重度化した場合における指針についてご説明した上で同意書を頂いています。また、必要が生じた場合、選択しを示し、ご本人・ご家族にとってより良い方向に向かう支援をしています。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご本人やご家族の意向を踏まえ、主治医等関係機関との連携を取り、納得した終末期が迎えられる体制が取れるよう今後も話し合いを続けていきます。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者様が別の所に移る際には新しい生活に困惑しないように、今までの身体状況や暮らしの様子等情報提供を行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々の状態に応じた声掛けや対応に努めています。記録は他者の目に触れないようにし保管は鍵のかかる所に行っています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>一人ひとりに合わせた声掛けをし自己決定を尊重する支援に努めています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々のペースを大切にし利用者様本位のケアが行えるよう希望を尊重した支援に努めています。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の希望に合わせてその人らしい身だしなみを支援しています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者様と一緒に教え、教わりながら作業し支援しています。時には出前、外食を楽しまれています。</p>	<p>嗜好調査を行い献立の工夫作りをしていきたいです。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>一緒に買い物へ行き好みの物を購入して頂いていますが決断力が低下してきている方も増え決められるように誘導しています。</p>	<p>買い物に行く機会を増やし楽しみを増やしていきたいです。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄状況、誘導時間を記録することにより個々の把握に努め支援しています。		自立の方の排泄に注意していきたいです。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望を取り入れながら時には温泉にも行っています。		拒否がある方に対してのアプローチの仕方の工夫作りをしていきたいです。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	リビングにもソファを置き休息が取れるようにしています。生活のリズムを崩さないよう昼などの休息は体調に考慮し休んで頂いています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴、趣味、特技や日常の会話のなかでの希望情報を職員で把握し、日々の生活で反映されるよう支援しています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じお金を所持して頂いています。ホーム預かりの方は外出時使えるようにしています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、ドライブと外出を行っています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者様の希望や季節に合わせた場所への外出を行っています。他の利用者様との外出はしていますが家族との外出が少ないです。		家族外出の機会を増やしていきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人とのやりとりができています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	挨拶はもちろんのことコミュニケーションを取り気軽に訪問して頂いています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員同士が身体拘束を理解し、身体拘束がない支援に努めています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室・玄関などの鍵かけはしていませんが、周囲の門や裏口には暗証番号によりロックしています。尚、入所時にご家族から許可を頂いております。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら所在を把握し、夜間は巡回により安全確認を行っています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物には手が届かないよう工夫しています。保管場所には施錠管理しています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ハアリハット・インシデント報告書により職員は事故を共有し、事故防止に関わる研修に参加するなど、知識を高めると共に話し合いの場を設け、再発防止に取り組んでいきます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は定期的に消防署に来て頂き、防災及び応急手当の訓練・指導を受けています。今後も研修に参加するなど、職員間の知識向上を図っていきます。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署員立会いのもと、利用者様と共に避難訓練を実施しています。また、地域の方との協力体制も出来ています。		スプリンクラーの設置を行います。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	介護会議にて個々のリスクの把握に努めご家族には面会時、毎月の手紙にて説明しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定時バイタルチェックの実施、体調変化や異変がある時は速やかな対応に努め医療との連携を図っています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬表をファイリングしいつでも確認できるようにしています。症状の変化を見逃がさないよう努めています。		観察力の強化に努め、主治医、薬剤師との連携を密にしています。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便リズムの把握に努め飲食物の工夫を行っています。健康管理表に記しており便困時には主治医の指導を受けています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを実施しています。月2回デンタルクリニックによる口腔ケア指導を行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を毎日チェックし健康管理表に記しており食事のバランスや摂取量を確認し把握しています。月2回の体重測定を行っています。		記録を元に個々の必要量を見極めていきます。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防のマニュアルを作成し認識しています。手洗い、うがいを徹底し、毎日手すり、イス、テーブル等の消毒を実施しています。		面会者の手洗い、うがいを徹底していきたいです。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日台所用品の消毒を行っています。食材について不信な場合、依頼先に連絡し安全な食材の使用と管理に徹底しています。		安全な食材の確保と管理に努めていきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周囲に草花を植え親しみを出しています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた飾りつけや花を活け居心地の良い空間作りをしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き個人や利用者様同士でくつろげるように工夫しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具や愛着のある物を持参して頂き安心して暮らせるような雰囲気作りをしています。		在宅時に近い空間作りの工夫に努めていきます。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は毎日行い温度調整し花や観葉植物を置き空気の淀みを感じないよう努めています。		スペースにあった加湿器を設置し湿度調節に努めていきたいです。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりや段差等バリアフリー化されており、自立した生活の支援をしています。		自立して暮らせるように工夫し事故防止に努めています。必要箇所到手すりを増やしています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	必要下箇所には目印をつけ、自立また安心して暮らせるよう支援しています。		アセスメント表の見直しを行い個々の状態を把握し支援していきます。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭が広く木や季節花を植えたり野菜や果物を植え収穫を楽しんで頂いています。		庭での活動を増やしていきたいです。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

体調管理に努め変化を早期発見し状態に合った病院へ受診しています。

ご本人やご家族の意向を踏まえ、納得した終末期を迎えられる体制作りをしています。ターミナルへ向け提携病院も変更しました。